



JAしまね

自己改革の実現

島根の農業・組合員のくらしを守るため
自己改革に取り組みます

JA
自己改革
実践中

JAグループ島根



自己改革の実現のために

組合員・利用者から期待される統合メリット発揮をはじめとして、全国のJAが統一して掲げている

3つの基本目標

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」

実現に向けて、組合員の皆さまとの対話を重視し、
組織を挙げて取り組んでいます。



① 持続可能な農業の実現

消費者の信頼に応え、安全で安心な島根県産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支えるJA

② 豊かでくらしやすい地域社会の実現

各事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で、暮らしやすい地域社会の実現に貢献するJA

③ 協同組合としての役割発揮

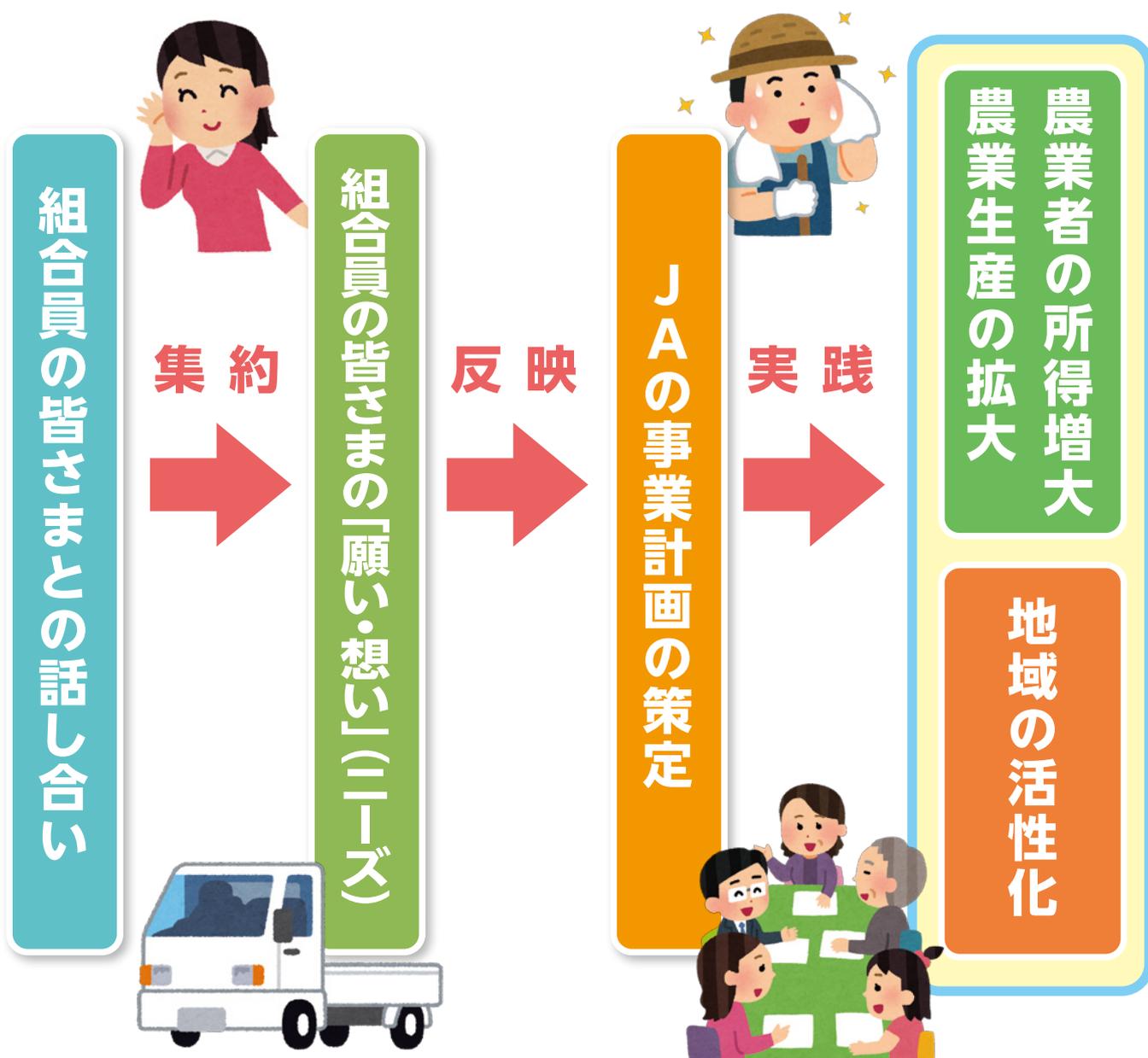
次世代とともに、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として存立するJA

組合員の皆さまの「願い・想い」を 実現するJAとして

JAは、農業者を中心とした組合員が「力を合わせて」共通の願いをかなえるために組織した「協同組合」です。

改革の取り組みは、組合員の皆さまに評価をいただいて初めて成果となります。

JAしまねでは、話し合いを通じて組合員の皆さまの「願い・想い」を実現するため、今後とも自己改革に取り組んでいきます。



平成29年度「農業者の所得増大」 「農業生産の拡大」の取り組み報告

名称 項目

JALしまね農業振興支援事業

内容

担い手経営体の育成・確保と、県域での戦略的な展開や地区本部別の取り組みなどの農業生産の維持・拡大対策と、農家所得向上に向けた支援を実施しました。また、自然災害復興対策も実施しました。

組合員 の声

経営規模拡大のために機械を更新する際、行政補助がなく困っていたが、JAから支援を受け、大変助かった。

成果

支援総額3億7,000万円（いきいきプラン2,149万円含む）

- ①魅力ある産地づくり支援：8,890万円（5品目支援経営体：法人8・個人54名、繁殖雌牛導入：199頭、島根デラウェア改植面積：3.6ha）
- ②島根農業モデル対策支援：5,220万円
（ふるい目更新1,437台、農業用施設構造強化20棟）
- ③元気な地域づくり支援事業：1億5,618万円
- ④新規就農者の確保育成支援事業：3,581万円（40名）
- ⑤担い手への健診支援事業：800万円（受診者1,042名）
- ⑥災害復興支援 713万円（49名・パイプハウス、土砂撤去等）



名称 項目

生産資材の価格低減

内容

- 「共同購入」として銘柄集約や銘柄変更に取り組み資材価格の低減に努めました。
- 「水稻一発肥料2銘柄」「高度化成肥料4銘柄」「水稻農薬10銘柄」の集約を行いました。
 - 園芸肥料に安価銘柄を採用しました。

組合員 の声

- 銘柄集約した肥料については安価になったが、それ以外の肥料については値上がりしたのもあり、全体的に価格を下げたい。
- 水稻除草剤は安価な銘柄は効果が期待出来ない気がして購入しにくい。価格だけでなく効果を含めた費用対効果を示して欲しい。

成果

- 水稻肥料銘柄集約還元額 3,143万円（29年産対比）
※前年度との価格対比
7,207万円（27年産対比）
※統合前との価格対比
- 水稻農薬銘柄集約還元額 2,049万円（29年産対比）
- 園芸農薬実証圃設置



平成29年度「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み報告

名称・項目 地域の担い手への情報発信

内 容 TAC(地域農業の担い手に向くJA担当者)活動の開始から10年、平成29年度には全地区本部へ配置し、担い手の所得向上に向けて活発な訪問活動と迅速な情報共有を進め、担い手への提案活動を着実に実践しています。

組合員の声 今後も自分の経営に活かせる提案をいただきたい。

成 果

- 毎年「アグリミーティング」(右・写真)という担い手への提案イベントを実施しています。JAグループの総合力を発揮したイベントで10年継続しています。
- 関係部署・機関と連携した経営改善チームの立ち上げなど地域の課題解決に向け、継続的に対応しています。



名称・項目 農業経営コンサルティングの開始

内 容 担い手に対する経営コンサル(専門家派遣)を通じて、農業経営体の経営悪化を未然に防止するとともに、経営発展・所得向上等に向けた取り組みをしています。

組合員の声 設備投資には二の足を踏んでいたが、経営コンサルで経営分析をしてもらい納得できるアドバイスをいただいた。ぜひ、この事業は続けて欲しい。

成 果 平成28年度は4経営体、29年度は6経営体で実施、要望も強く30年度も継続実施します。



名称・項目 島根米のレベルアップと差別化強化(1.90mmふるい目の普及)

内 容 平成27年度より1.90mmふるい目による高品質化を進めるとともに県と連携して粒厚肥大技術の普及に取り組みました。

組合員の声

- 1.90mmふるい目による選別で、きれいな米に仕上がる。歩留まりも例年に比較してそう変わらなかった。
- 玄米品質は確実に良くなった。

成 果 主要3銘柄(コシヒカリ、きぬむすめ、つや姫)において、1.90mmふるい目使用での1等米を「上」区分として買取単価設定を行い、集荷総数量における「上」区分の比率は54%、1等米総数量における「上」区分の比率は74%となりました。



平成29年度「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み報告

名称 項目

畜産総合センター事業（子牛・繁殖雌牛の預かり事業）

内容

畜産総合センターでの預かり事業の充実、繁殖農家の労働力軽減を図りました。

組合員 の声

- 畜産総合センターを利用し増頭に繋がりました。
- 入院時や多忙時に牛を預かってもらい、大変助かりました。

成果

- 子牛を預けることより、農家の牛舎空スペースの利用や余剰労力で母牛の増頭を勧め、管内生産頭数の拡大及び生産者の所得増大に寄与しました。
- 雌牛を預けることにより、農繁期・冬期間（集落放牧等）・入院時等の飼育管理支援により、余剰の労力を増頭に繋げることや、入院等により飼養しにくい環境下で継続飼養・後継者への経営移譲が行いやすい環境を生み出しました。
- 雲南・県央地区畜産総合センターの預かり実績（平成29年度）キャトルステーション 87頭・マザーステーション 108頭



名称 項目

担い手の積極的な設備投資を後押し
～借入れコストの軽減～

内容

設備投資に伴う借入れコストの負担軽減を図る「農業所得増大応援キャンペーン」等を展開しました。

- 認定農業者支援資金等へのキャンペーン金利の適用
- 設備資金借入れに対する助成（借入額の0.7%を助成）
- 島根県に要望し実現した借入利息助成制度「島根県認定農業者金融支援事業」の導入

組合員 の声

借入利息等の負担が少なく、借入れ手続きも簡単で、
資金を借りやすくなった。

成果

- 平成29年度農業資金新規融資額
28億7,700万円（前期：27億1,700万円）
内、「認定農業者支援資金」新規融資額
239件 10億2,100万円（前期：204件 14億700万円）
- 設備資金借入れに対する助成額 1,556万円（前期1,368万円）
- 「島根県認定農業者金融支援事業」取扱額 105件 210万円



平成29年度「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み報告

名称・項目 園芸重点推進5品目の産地化推進

内 容

JAしまね農業振興支援事業の一環として産地化支援を行いました。

- キャベツ 「加工業務用向け栽培推進」「労力補完の試験的取組」「水田の排水対策試験の実施」
- たまねぎ 「集落営農法人への推進」「オール機械化体系の試験実証」
- ミニトマト 「アンジェレの作型拡大試験実証」
- 白ねぎ 「新技術実証(点滴灌水システム、新品種、マルチ栽培)」「広域産地化」
- アスパラガス「リース団地」「新技術実証(1年生栽培、高畝疎植栽培)」

組合員の声

- 島根ブランドの定着化を考えて欲しい。
- 所得向上のため販売力を強化して欲しい。



成 果

産地化に向けて集中的に支援を行い、平成29年度の新規作付面積は、キャベツ6.4ha・たまねぎ0.4ha・ミニトマト0.5ha・白ねぎ1.1ha・アスパラガス1.1haとなり栽培面積の拡大に繋がりました。

名称・項目 西条柿のあんぽ柿・干し柿の生産拡大

内 容

平成28年度に出雲・平田地区で整備した冷蔵施設を利用し、原料柿について、地区本部を越えて生産者から広域集荷し、県統一規格の「島根あんぽ」を中心に生産・販売拡大し、生産者所得の向上を図りました。

組合員の声

- 販売拡大につながった。
- 管轄する地区本部には、製造施設が無いので助かっています。

成 果

- あんぽ柿・干し柿の出荷量が60トン(前年比137%)、販売高1億5,521万円(前年比125%)に拡大しました。
- 販売先の大手量販店からは、品質の良さ、味に対する評価をいただき取引の拡大に繋がりました。



名称・項目 しまね和牛の増頭支援

内 容

「しまね和牛の増頭に係る繁殖雌牛導入支援」「繁殖用牛舎等施設整備支援」「乳牛への和牛受精卵移植支援」により、子牛市場への上場頭数の増頭を進めました。

組合員の声

繁殖用雌牛価格が高騰しているなかで、JAからの支援は増頭を進めるために助かります。

成 果

前年度に引き続き増頭支援を行いました。

- 繁殖雌牛導入支援 : 106戸 199頭(前年度204頭)
- 繁殖用牛舎等施設整備支援 : 9戸 10棟(前年度 13棟)
- 受精卵移植支援 : 18戸 221回(前年度227回)



平成29年度 「地域の活性化」の取り組み報告

名称・項目 きめ細かい対応で年金ライフをサポート

内 容

- 年金相談や各特典を通じて組合員の年金のサポートを行いました。
- 年金受給前の相談はもちろん、年金受給後のフォローも行いました。

組合員の声

- 「ねんきん定期便」の見方がわかった。
- 年金受給後の働き方についていっしょに考えてもらえた。

成 果

年金の相談を通して、受給開始後も組合員と顔の見える関係づくりができました。



名称・項目 農畜産物をPRする貯金キャンペーン

内 容

組合員をはじめ地域の皆さまにも島根の農畜産物を広くPRするため、貯金のキャンペーンを実施しました。

- サマーキャンペーン 島根県産お肉(牛肉、豚肉、鶏肉)の詰合せセット
- あったかキャンペーン 高級炊飯器&島根米のセット
- 年金指定キャンペーン 1,000円相当の島根の野菜プレゼント

組合員の声

- JAらしいキャンペーンだと思います。
- 当たる人数を増やして欲しい。

成 果

島根県産の農畜産物をPRするとともに、多くの皆さまにJAバンクをご利用いただきました。



名称・項目 みどりを守る児童画コンクール開催

内 容

- 県内の小学生を対象に、「みどり」をテーマにした図画教育を通じて、地域の農業に関心を持ち、食の重要性と農業・農村が果たす多面的な働きへの理解を深めること(食農教育)を目的として開催しました。

組合員の声

- 毎年、応募させていただいています。
- 入賞出来てうれしかったです。

成 果

- 本事業の目的のとおり、この取り組みは島根県の「食農教育」に貢献をしています。
- 平成29年度で43回目を迎え、今回は合計770点の力作が寄せられました。



平成29年度「地域の活性化」の取り組み報告

名称・項目 「JAしまね子ども倶楽部」による子育て応援

内 容

- 毎月発行している「子ども倶楽部通信」を通して、育児・子育てに関する特集や耳寄り情報を提供しました。
- 「子育てフェスinいわみ」のイベントを開催し、8,000人の方にご来場いただきました。

組合員の声

- 地域の様々な情報を知ることが出来るので毎月楽しみです。
- 来年のイベントもぜひ参加したい。

成 果

- 出産前後の情報や子ども連れで行けるお店など、毎月お届けしている通信の内容に満足いただいています。
- 既会員からの紹介もあり、平成29年度は1,362人増加し、会員総数は2,801人となりました。



名称・項目 JAしまね総合ポイントカード(おさいふカード)の利便性向上

内 容

ポイントの利便性向上に向けて、端末機の更新等や、イベント限定での商品交換サービス等を実施しました。

組合員の声

ポイントを使えるところを増やして欲しい。

成 果

昨年度1年間で会員数は、3,431人増となりました。また、2億7,600万ポイントを付けさせていただき、2億6,200万ポイントをご利用いただきました。



名称・項目 「支店だより」の発行・内容充実

内 容

組合員や地域の皆さまに、地域や支店の、タイムリーな情報をお伝えし、JAに親しみをもつていただくため、全地区本部での「支店だより」を発行しました。

組合員の声

- 異動されてきた支店の職員さんを知ることが出来ました。
- 支店のイベントやキャンペーンを知ることが出来ました。

成 果

- 分かり易い「支店だより」を発行するためコンクールを開催しました。
- 全ての支店で発行ができるよう取り組んでいます。



平成30年度「農業者の所得増大」 「農業生産の拡大」の取り組み方針

組合員からの期待

- 農業経営拡大に向け、国、県、市の補助対象外への支援は心強い。継続して実施してほしい。
- GAPの取り組みを他地域に遅れることなく進めて欲しい。

名称・項目

JAしまね農業振興支援事業での「GAPの取り組み支援」を新設

成果目標

- 事業費4億円の活用による農業生産額の拡大を目指します。
- 農畜産物を販売する上でGAP手法導入が重要視されていることから、生産者組織での導入の取り組みを30年度新規項目として支援します。
- 園芸重点5品目(キャベツ・たまねぎ・ミニトマト・白ねぎ・アスパラガス)、繁殖雌牛増頭、乳牛後継牛確保、新規就農者への支援もします。



組合員からの期待

農家組合員の所得向上のため販売力を強化して欲しい。

名称・項目

販売を起点としたものづくりの提案と新たな需要開拓のため、販売戦略室を中心とした取組強化

成果目標

- 地区本部・JAアグリ島根・JA全農グループ等と連携を図り有利販売と産地の活性化を目指します。
- 地区本部間(産地間)連携により新たな需要の掘り起こしを目指します。
- ネット販売や輸出など新たな需要開拓も企画し、販売チャンネルの拡大を目指します。



組合員からの期待

他県でも「島根つや姫」を安定的に引き取ってもらい、年間を通じて精米販売されている。現地で「島根県産つや姫をいつも購入している」「おいしく食べている」という声を聞くと作る励みになる。

名称・項目

島根米の安定的取引の拡大

成果目標

- 取引先の要望数量に準じた品種誘導の取り組みを進めます。
- 30年産島根米の事前(収穫前・複数年)契約をJA集荷目標値の80%にあたる34,000トンを目指します。



平成30年度「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み方針

組合員からの期待

- JAに収穫支援をしてもらい、キャベツの作付面積を増やしたい。
- 水稻の他に園芸作物にも取り組んでみたい。

名称・項目

園芸重点5品目の産地維持・拡大

成果目標

新規推進目標達成に向けて取り組みます。

- キャベツ「加工業務用向け栽培推進、労力補完(収穫支援)により、生産者の労力軽減を図り、作付面積の拡大に繋げる」
……………新規目標面積 5ha
- たまねぎ「オール機械化体系による集落営農法人等への推進」
……………新規目標面積 2ha
- ミニトマト「アンジェレの作型拡大」……………新規目標面積 1ha
- アスパラガス「リース団地」「新技術実証」……………新規目標面積 1ha
- 白ネギ「新技術実証」「広域産地化」……………新規目標面積 1.5ha



組合員からの期待

県央地区でも畜産農家の総合的な支援に期待します。

名称・項目

県央地区畜産総合センターの本格稼働

成果目標

- 県内2例目として雲南畜産総合センターに続き、平成29年5月に県央地区畜産総合センターのマザーステーション(繁殖雌牛預かり事業)を開始しました。また平成30年2月にはキャトルステーション(子牛の預かり事業)施設が完成しました。平成30年度から本格稼働し農家の労働力低減・増頭支援を実施します。
- 平成30年度は、キャトルステーション48頭・マザーステーション77頭の預かりを目標としています。



組合員からの期待

- 家族経営の酪農家では、傷病時に酪農ヘルパーがいると大変助かります。
- ゆとりのある酪農経営ができることを期待します。

名称・項目

酪農ヘルパー事業の開始

成果目標

酪農ヘルパーの広域的で安定した出役確保を目的に、県内1酪農ヘルパー利用組合の設立を目指し、さらに各利用組合と協議を進めます。平成29年度に4名の酪農ヘルパー要員を雇用しましたが、さらに酪農ヘルパー要員の増員を図り、安定した酪農ヘルパーの出役確保を図ります。



平成30年度「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み方針

組合員からの期待

- 事業承継について、親子間では、なかなか切り出せないため、JAが中に入って話せる機会を作ってほしい。
- 将来の営農継続に対する不安の払拭やモチベーションを向上させたい。

名称・項目

事業承継支援（営農技術の承継から土地や財産の引き継ぎまで）

成果目標

- 事業承継啓発チラシや研修会等で幅広く周知し、事業承継にあたっての「話し合いのきっかけづくり」をTACがサポートします。
- 親子間や集落営農に対して「事業承継ブック」を活用し、TACと関係部署が連携し、総合的にバックアップを行います。



組合員からの期待

農家の所得向上のため、生産資材のコスト削減にもっと力を入れて欲しい。

名称・項目

生産資材コスト削減

成果目標

- 31年産水稲一発肥料3銘柄の集約（コシヒカリ:1,000トン、きぬむすめ:500トン、つや姫:500トン）
- 一般高度化成4銘柄集約による価格低減
- 有機化成肥料の集約
- 水稲農薬の統一による価格低減と超大型規格農薬を始めとする費用対効果による総合的な提案
- 園芸農薬等市況対象品目の価格低減
- JAグループ山口との水稲一発肥料（きぬむすめ）の銘柄集約に向けた圃場試験の実施



組合員からの期待

農業機械が高いので安価なモデルを作って欲しい。

名称・項目

機能を絞った低価格トラクターの供給

成果目標

- 機能を絞った60馬力トラクターを農機メーカーに開発を依頼し、JAで共同購入することで、組合員に低価格による供給を実現する。
- 共同購入トラクター供給台数5台（～32年度:50台）



平成30年度「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み方針

組合員からの
期待

農業経営の資金が必要なので、新しい融資を考えて欲しい。

名称・項目

「農業経営サポート資金(当座貸越型運転資金)」の新設

成果目標

- 運転資金の需要に応えるため当座貸越型「農業経営サポート資金」の取扱いを平成30年4月から開始しました。
- 担い手の皆さまの円滑な事業展開を支援します。



組合員からの
期待

資金借入時の負担をさらに軽減して欲しい。

名称・項目

農業所得増大応援キャンペーンの継続と保証料の全額助成

成果目標

- 農業所得増大応援キャンペーンの継続実施と農業資金(農業近代化資金・認定農業者支援資金・農業経営サポート資金)における島根県農業信用基金協会の保証料を全額助成します。
- 借入れコストの更なる軽減を図り、農業所得の増大に貢献します。



組合員からの
期待

農業を取り巻く様々なリスク(生産基盤・圃場の損壊、農業用車両の事故、農作業中のケガ、第三者への賠償等)を保障する商品の提案は出来ないか。

名称・項目

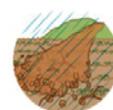
「農業リスク診断活動」の積極的な展開

成果目標

個別に農家の「リスク診断」を実施します。様々なリスクに対してJA共済(または共栄火災)の商品での解決策を提案し、組合員の皆さまに「より安全な暮らしと農業経営の実現」を提供します。

生産基盤・圃場の損壊

農業用車両の事故



農作業中のケガ

第三者への賠償



平成30年度 「地域の活性化」の取り組み方針

組合員からの期待

これからも地域密着のJAとして期待しています。

名称・項目

地域貢献・地域活性化支援事業

成果目標

- 地域における歴史・自然・文化等を活かした「地域力」発揮による「元気な地域づくり」を応援しています。本年度も「地域貢献・地域活性化」に取り組むグループ団体等の表彰や活動を支援する事業を行います。
- 平成25年からこれまで、地域活性化団体活動表彰107団体、地域活性化活動支援94団体に行ってきました。



組合員からの期待

- JAの行っている自己改革が分からない。
- JAの農業振興支援がどういうことをしているか教えて欲しい。

名称・項目

JALしまね広報誌への『自己改革PR』記事の掲載

成果目標

- 組合員、地域住民のJAへの理解促進・情報共有に繋げていきます。
- JALしまね農業振興支援事業の活用事例を分かりやすく毎月ご紹介します。



組合員からの期待

- 気軽に葬儀の相談ができる機会があると良い。
- 事前に家族の葬儀の相談をしておきたい。

名称・項目

葬儀に関する相談会等の開催

成果目標

- 葬儀事前・事後相談会およびイベント等を各地区本部で年2回の開催を予定しています。
- 他部門と連携し、組合員・利用者に寄った事業運営をしていきます。
- 組合員・利用者の多様化する葬儀ニーズへアドバイス致します。



平成30年度「地域の活性化」の取り組み方針

組合員からの期待

- 相続に備えて、事前に相談しておきたい。
- 相続手続きをスムーズに行いたい。

名称・項目

相続・資産相談業務の強化

成果目標

- 本店に相続・資産相談の専任担当者を置き、島根県全域をカバーできる体制の充実を図ります。
- 相続手続きにおいて、JAとの様々なお取引を一括手続きできるよう、システムを導入します。



組合員からの期待

- 気軽に年金の相談ができる身近な存在であって欲しい。
- 年金受取金融機関として指定した後もきめ細やかなフォローを期待する。

名称・項目

年金相談の充実による組合員へのサービス向上

成果目標

- 更なる相談機能の充実を目指します。
- 前年度、新たにJAで年金を受給された方を対象として、今年度にJA厚生連が主催する胸部CT検診の費用を一部助成します。



組合員からの期待

正組合員・准組合員関係なく話を聴いて欲しい。

名称・項目

全組合員調査の実施

成果目標

- 今年度末から来年度にかけて全組合員に対しアンケートをお願いする予定としております。皆さまのご意見を伺い、いただいた意見を基にJAの事業がより良いものになるように努めてまいります。
- 前年度は、3,000人の組合員を対象に無作為抽出し、アンケートにご協力いただきました。





JALまね

〒690-0887 島根県松江市殿町 19 番地 1
TEL:0852-35-9001 FAX:0852-35-9045
<http://ja-shimane.jp/>

